

日本保健物理学会 第四回緊急時モニタリング臨時委員会 議事録

1. 開催日時 2021年7月5日(月) 15:00-16:40
2. 開催場所 Web開催(Zoom)
3. 出席者 細田、斎藤、三上、真田、大森、武田、山田、平尾、谷、外間、辻口
4. 欠席者 折田
5. 議事
 - 1) 第三回臨時委員会議事録について
 - 2) 臨時委員会の今後のスケジュール等について
 - 3) 委員会検討項目に係る情報収集の進捗、情報提供について
 - 4) その他、事務連絡
6. 配布資料
 - 資料1 第三回臨時委員会議事録
 - 資料2 令和3年度企画シンポジウムでの質問まとめ

7. 議事内容

1) 第三回臨時委員会議事録について

- 幹事より、資料1について説明がなされた。

2) 臨時委員会の今後のスケジュール等について

- 委員長より、令和3年12月に開催が予定されている日本保健物理学会第54回研究発表会にて当臨時委員会の進捗を報告できるよう進めていく旨報告があった。また、アンブレラ事業に関する成果報告書の作成時期が今夏に、学会への成果報告時期が来春になることが予定されているため、今後も計画的に進捗を取り纏めていく旨報告があった。なお、令和4年3月までとなっている臨時委員会の活動任期後も、論文の作成等の活動を行っていく予定となっていることから、学会事務局から何らかの依頼文を頂戴できないかどうか、幹事が確認することとなった。

3) 委員会検討項目に係る情報収集の進捗、情報提供について

- 第三回臨時委員会後の各班の情報収集の進捗について、委員より口頭で説明があった。以下に各班の報告をまとめる。

- ・ 齊藤・三上・武田・外間委員より、モニタリング体制や技術等については緊急時のフェーズ（初期・中期・復旧期・長期）に分けて情報および提言を組み立てていく方針との旨報告があった。
- ・ 大森・平尾委員より、モニタリング技術面について有益な情報があれば大森・平尾班まで情報提供がほしい旨依頼があった。
- ・ 辻口委員より、情報伝達やリスクコミュニケーションに関する情報もモニタリング体制や技術と同様に緊急時のフェーズに分けて成果報告を作成できるようまとめ始めている旨報告があった。
- ・ 齊藤・谷委員より国際機関の動向について、ICRP や IAEA 等の国際機関の各種ガイドラインや提言について情報収集が進んでいる旨報告があった。なお、国際機関の動向を踏まえつつ各委員と今後も意見交換を重ね、提言内容を検討していくとのこと。
- ・ 真田・山田・細田委員より海外拠点機関の動向について、質問紙調査の準備状況について報告があった。なお、今後の各班の状況を踏まえ、質問内容の最終調整をするとのこと。

4) その他、事務連絡

- 幹事より、資料2について説明がなされ、今後の情報収集の参考にしていくこととなった。

以上

書記：辻口